

お客様各位

株式会社エム・エル・ティー

業界初デジタル細胞診 ⇒ スライド発送の手間と輸送時間が短縮されます。

デジタル細胞診（肥満細胞腫）の開始に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、2024 年 6 月 17 日より、細胞診におけるサービスの拡大を目的とし、デジタル細胞診（肥満細胞腫）画像診断の項目を追加いたしました。標本の郵送の手間が不要で、ご希望であれば依頼から数時間以内に報告書を受け取ることが可能となります。

なお、従来の細胞診には変更等はありませんので、今後もこれまでと変わらぬご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

謹言

記

1. 検査名 「デジタル細胞診（肥満細胞腫）」【Web 依頼限定での検査になります。ご注意ください】
2. 検査対象 犬および猫の肥満細胞腫の塗抹標本
3. 検査料金 別途お問い合わせください
4. 所要日数 依頼当日～翌日（土日祝を除く）
5. 検査依頼方法
 - ① エム・エル・ティーWeb 検査システムから各種依頼→病理検査依頼へ進み、「細胞診検査」項目内の「デジタル細胞診」を選択してください。
 - ② 検査結果報告方法は、Web と E メール
 - ③ その他の検査項目（病理検査と従来の細胞診）との同時依頼は出来ません。
 - ④ 塗抹画像を 3 枚以上 6 枚以内で添付してください。
(画像の詳細については、別紙 1、2 に詳細を記載しております。)
 - ⑤ その他の操作方法は、Web 依頼と同様です。

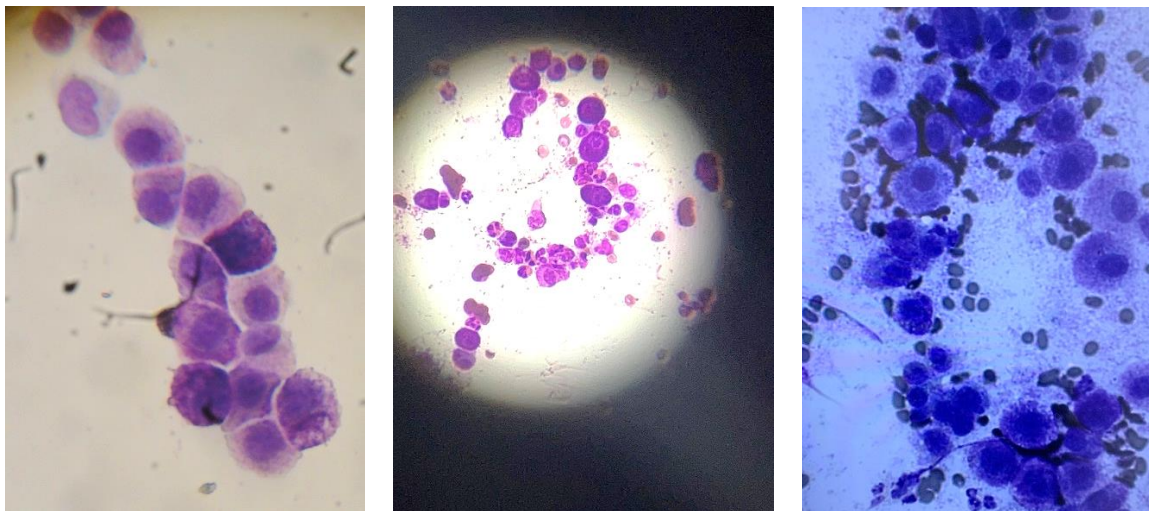
注)：細胞診は塗抹された細胞の全てを鏡検することが原則ですが、肥満細胞腫については条件が十分であればデジタル画像により診断が可能と判断しております。

以上

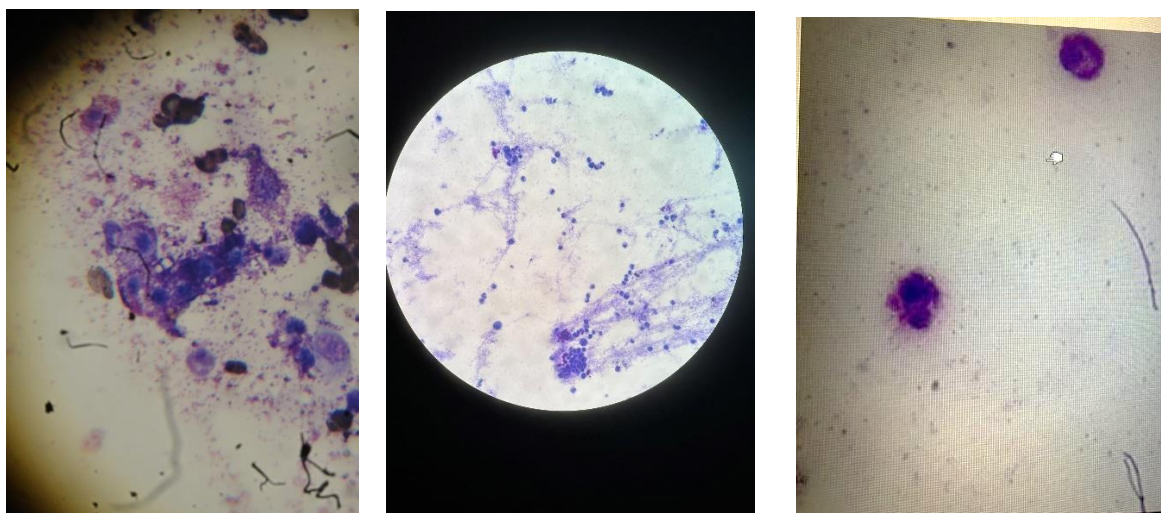
別紙 1

- 塗抹画像は、顕微鏡用デジタルカメラ、スマートフォン、あるいは顕微鏡画像のモニターをデジタルカメラ等で撮影したものなど、細胞形態（細胞内顆粒）が明瞭であれば、いずれも依頼は可能です。

診断可（例）



診断不可（例）



（ゴミと顆粒の区別が困難）

（倍率が低い スマホ撮影）

（細胞が少ない）

※ 診断ができない画像については、「診断不可」として報告します（検査料金は頂きません）ので、通常の細胞診として再度ご依頼ください。

別紙2（撮影方法）

一番の推奨は、顕微鏡専用のデジタルカメラです。



※ 出典 マイクロネット株式会社 HP より引用（TG-7 スーパーシステム）

スマートフォンでの撮影には、**顕微鏡接眼レンズが内蔵されたアダプター**がおすすめです。



出典 Amazon HP より引用

（Celticbird 顕微鏡レンズアダプター 顕微鏡アクセサリ 顕微鏡スマートフォンカメラアダプター
- 顕微鏡接眼レンズチューブ用 23.2mm WF 16X 顕微鏡接眼レンズ内蔵）
※ ）

モニターを、デジタルカメラあるいはスマートフォンで撮影した画像でも診断可です。

